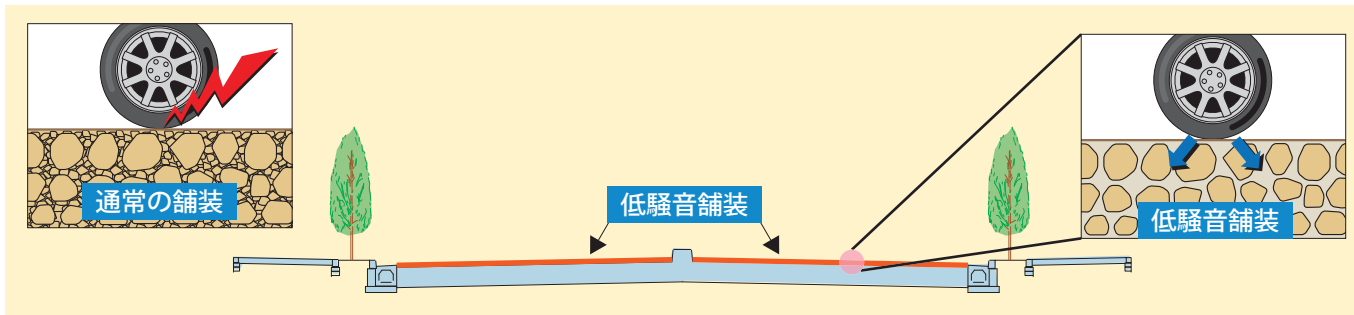


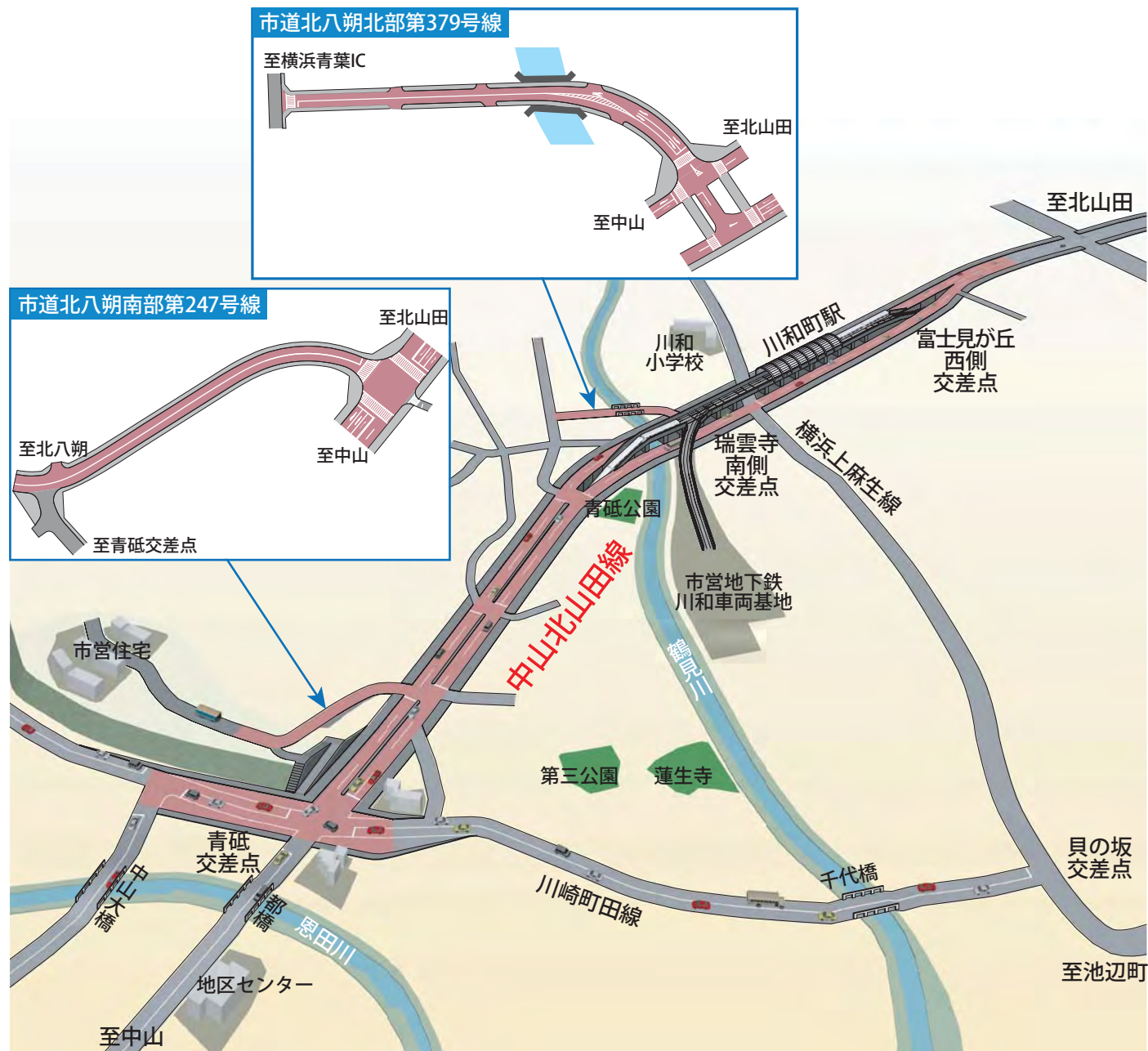
## 中山北山田線の環境保全対策

### ●低騒音舗装の採用

自動車が走行する時、タイヤと路面との間に挟まれた空気が圧縮・膨張することで騒音が発生します。低騒音舗装は、こうした空気を舗装のすき間の中に逃がすことができ、従来の舗装と比べ騒音を低減する効果があります。



### イメージ図



問い合わせ先 横浜市道路局建設部建設課  
 〒231-0017 横浜市中区港町1-1 (横浜関内ビル6階) TEL 045-671-3527 FAX 045-663-8993  
<http://www.city.yokohama.lg.jp/doro/kensetsu/> 平成21年6月作成

## 都市計画道路

### 中山北山田線(青砥北八朔川和地区)の事業概要

横浜市道路局

### 事業概要

事業地区：中山北山田線（青砥北八朔川和地区）  
 区間：緑区青砥町（青砥交差点）～都筑区見花山（富士見が丘西側交差点付近）  
 延長：約1,960m  
 標準幅員：23m～53m 両側歩道4.0m  
 車線数：4車線（片側2車線）  
 都市計画決定：平成13年1月12日  
 事業認可：平成14年3月5日  
 事業期間：平成13年度～平成28年度

### 整備効果

#### ●都市計画道路網の強化による交通利便性の向上と渋滞の緩和

川崎町田線の青砥交差点と横浜上麻生線の瑞雲寺南側交差点が最短距離で結ばれ、JR中山駅周辺と港北ニュータウン方面との交通利便性が向上します。また、川崎町田線の青砥交差点付近も中山北山田線の整備に合わせて交差点改良を行いますので、慢性的な交通渋滞の緩和が図られます。

#### ●自動車交通流の適正化による生活環境の向上

周辺の住宅に入り込んでいた通過交通を中山北山田線に転換させ、自動車交通流を適正に処理することにより、住宅地域における安全性など生活環境が向上します。また、4mの歩道（自転車通行可）が整備されますので、歩行者や自転車利用者が、安全に通行することができます。

### 計画道路の位置

